

2コース

レギュラーコース
レクチャー

定員:50名

6月2日(日)

時間 10:00~13:00

会場 大阪歯科大学 天満橋学舎

対象 歯科医師・歯科衛生士・学生

歯科医師(会員)5,000円、歯科医師(会員5年未満)3,000円

研修費 歯科医師(会費未納者、他大学)15,000円

歯科衛生士・歯科技工士2,000円、学生無料

健康長寿と口腔健康を 守る口腔細菌叢

～口腔細菌フローラのトレンドを知る～



沖永 敏則

大阪歯科大学 細菌学講座
主任教授

【略歴】

2002年 九州歯科大学 卒業
2003年 臨床研修歯科医(九州歯科大学 第1口腔外科)修了
2007年 九州歯科大学大学院歯学研究科博士課程修了
2007～ アメリカ オクラホマ大学歯学部
2009年 Health Sciences Center
2010年 九州歯科大学 感染分子生物学分野 助教
2015年 九州歯科大学 感染分子生物学分野 講師
2018年 大阪歯科大学 細菌学講座 主任教授 (現在に至る)

ヒトには、 10^{14} 個を超える常在細菌叢が存在し、免疫系を刺激・成熟させることで、外来からの病原微生物の侵入・増殖を阻止するなど、ヒトの健康に対して、非常に大きな役割を果たしています。口腔には、約800種類(そのうち約500種の菌種が分離同定されています)にのぼる細菌が生息する口腔微生物叢(口腔フローラ)が存在し、口腔内の特殊な環境(例えば、舌表面、唾液は好気的環境、歯肉溝は嫌気的環境)において、他部位における常在細菌叢と比較すると、きわめて多様な細菌種が生息しています。

現在、腸内細菌叢については、メタ解析が飛躍的に進み、様々な全身疾患との関連性が盛んに報告されています。一方で、歯周病細菌をはじめとした口腔病原細菌の全身疾患への関連性も学会ポジションペーパーや論文等で報告されています。しかし、口腔ケアの重要性が叫ばれている口腔において、細菌叢領域は、実は未知の領域とされています。そのような未開拓地である口腔細菌叢について、我々は次世代シーケンサーを使った解析を行い、口腔環境における「善玉菌」や、口腔環境を整えるサプリ等の探索を行い、「菌を整える」ことを目指しています。今回の講演では、非常に取っ付き難い細菌叢に関して、できるだけ簡便にトレンドをお伝えしながら、細菌叢解析からみる健康長寿について考えてみたいと思います。